

京都府立図書館サービス計画（中間案）について

京都府立図書館協議会資料（R7. 11. 7）

1 計画策定の経過

府立図書館では、令和3年度に策定した「京都府立図書館サービス計画（令和3年度～令和7年度）」が本年度末に終了することから、これまでの成果と課題を踏まえ、府民へのサービスの向上を図るため、今後5年間の新たなサービス計画を策定する。

2 計画の位置づけ

図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）において、「都道府県立図書館は、設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定する」とことになっており、これに基づいて策定するもの。

3 計画の期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

4 サービス計画の基本方針及び課題解決のために取り組む内容

I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、互いに協力して図書館サービスを展開し、府民のニーズに応えます。

- ・府内図書館等との相互貸借をさらに充実、安定運用を図るため、各館の連携体制の強化
- ・児童生徒の探究的な学びや学生の調査研究のニーズに応える
- ・学びあい、交流の場として、府立図書館に自習スペース等を整備
- ・就学前の子どもや経済的課題のある児童生徒・保護者への読書環境の提供
- ・京都府図書館等連絡協議会と連携した読書活動の推進

II 多様な文化資源の情報を取り扱い、読書の機会を提供することで、府民の知的好奇心に応える利用しやすい図書館サービスを展開します。

- ・不読率上昇の歯止めに繋がる読書機会の創出
- ・府立図書館資料のデジタルアーカイブ化と市町村立図書館資料のデジタルアーカイブ化の支援
- ・未利用者に届く効果的なSNSや動画配信
- ・府立学校・大学等と連携し、図書の魅力を発信
- ・観光目的等で訪れた人を図書館利用者に
- ・アクセシブルな書籍情報や読書バリアフリー推進の先進事例の収集と市町村立図書館等との共有

Ⅲ 京都が持つ長い歴史や文化を活かし、大学・文化施設・地元企業等と連携して、様々な交流機会を創出し、京都ならではの文化の振興と地域の活性化に寄与します。

- ・行政機関と連携した取組の強化（議会図書館、歴彩館、府立医大、国立がん研究センター、京都府埋蔵文化財センター、京都SKYセンターなど）
- ・児童生徒や大学生を対象とした講演会やイベントの実施
- ・書店や出版社等と連携した読書機会の創出
- ・行政機関等からのレファレンスサービスの取組を強化